



# 5月のこんだて



月	火	水	木	金	土
6 	7 	8 	9 	10 	11 
13 	14 	15 	16 	17 	18 
20 	21 	22 	23 	24 	25 
27 	28 	29 	30 	31 	

社会体験

## 5月5日は端午の節句

「端午の節句」の「端」はもののはしっこ、つまり「始まり」を意味します。また「午」は「ご」と呼ぶため「端午」は月の初めの5日の表す言葉でした。その中でも5という数字が重なる5月5日を「端午の節句」と呼ぶようになりました。5月5日は「菖蒲の節句」ともされており、「菖蒲」が「尚武」と同じ読み方であることから、鎌倉時代頃から男子の節句とされ、甲冑、武者人形などを飾り、庭前に鯉のぼりを立てて男子の成長を祝うようになりました。この日は邪気を払う意味から、菖蒲や蓮を軒に挿し、ちまきや柏餅を食べるのが良いとされています。

柏餅は、丸型の餅に餡をのせて二つ折りにし、柏の葉で包んだ和菓子です。柏は昔から神聖な木とされており、「子どもが生まれるまでは親が死なない」すなわち「後継ぎが絶えない」「子孫繁栄」に結びつき、端午の節句の縁起の良い食べ物となりました。

ちまき…厄除け かしわもち…子孫繁栄 かつお…強くたくましく成長 たけのこ…すこやかな成長

